

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第41週)

宮城県【平成26年10月16日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2014.10.6 ~ 10.12 ・ 第41週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第38週	第39週	第40週	第41週
水痘	2 0.40	6 0.60	4 0.80		2 0.67	5 1.00		28 1.08	47 0.81	1,599	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		3 0.30	1 0.20	3 1.50	1 0.33			2 0.08	10 0.17	535	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	13 2.60	15 1.50	4 0.80	8 4.00	9 3.00	4 0.80	1 0.50	54 2.08	108 1.86	15,101	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	2 0.40	8 0.80	2 0.40	2 1.00		2 0.40	1 0.50	11 0.42	28 0.48	334	○→	レ→	→	○
伝染性紅斑	4 0.80	2 0.20	3 0.60		4 1.33	8 1.60		14 0.54	35 0.60	2,089	レ→	○→	○→	レ
突発性発しん	2 0.40	3 0.30	4 0.80		4 1.33	2 0.40	1 0.50	17 0.65	33 0.57	1,585	○→	○→	レ→	○
ヘルパンギーナ	3 0.60	12 1.20	5 1.00			6 1.20	1 0.50	14 0.54	41 0.71	2,369	◎→	◎→	◎→	○
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱		1 0.10						10 0.38	11 0.19	561	→	→	→	
流行性角結膜炎		3 1.00				1 1.00		2 0.33	6 0.50	135	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	12 1.20	3 0.60		3 1.00	15 3.00		36 1.38	74 1.28	4,614	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			2 2.00		4 0.33	340	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	3 0.60	4 0.40			1 0.33			19 0.73	27 0.47	494	→	→	→	○
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2					1	3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>					
	不明発疹	2					1	2						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								52					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

### 今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満  
2類感染症: 結核  
仙南管内 男性1名  
塩釜管内 男性1名  
石巻管内 男性1名、女性4名(第40週)  
仙台管内 男性6名、女性3名、女児※1名  
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)  
仙台管内 女児※1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
登米管内 女性1名  
4類感染症: 報告なし  
5類感染症: アメーバ赤痢  
仙台管内 男性1名  
侵袭性肺炎球菌感染症  
仙台管内 男性1名  
水痘(入院例)  
仙台管内 女性1名(第40週)

### 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント  
— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —  
【伝染性紅斑】  
登米、石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】  
～仙台医療センターウイルスセンター～

	第39週採取分 (9.22～9.28)	第40週採取分 (9.29～10.5)	第41週採取分 (10.6～10.12)
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	3件	3件	0件
RSウイルス	2件	1件	3件
アデノウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	1件	2件	0件
ライウイルス	0件	1件	0件

【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】 平成26年6月29日現在

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	113(2)	77(1)
全 国	16,302(276)	7,397(120)

( )内は平成26年3月31日～平成26年6月29日分の報告数である。  
API-Net(エイズ情報予防ネット)より

### 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第39週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.09)、熊本県(0.78)、愛媛県(0.28)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は3例と前週と比較して増加し、2県から報告があった。**RSウイルス感染症**: 報告数は2,942例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は徳島県(1.09)、沖縄県(0.71)、奈良県(0.59)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(2.56)、鳥取県(2.47)、香川県(2.28)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(6.50)、宮崎県(6.00)、岡山県(4.93)である。**水痘**: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.77)、新潟県(1.05)、鹿児島県(1.04)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.78)、山形県(1.60)、沖縄県(1.59)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は香川県(0.10)、福岡県(0.06)、沖縄県(0.06)、鳥取県(0.05)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(2.08)、福島県(1.84)、宮城県(1.69)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、青森県(1.00)、秋田県(0.88)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は減少した。2県から2例報告があり、年齢別では0歳(1例)、10代(1例)であった。  
\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数